

第1回 カリキュラムワーキング部会 議事録

日時： 平成28年9月14日（水） 17:00～18:00

場所： 医学部長室

出席者： 秀部会長、栗井、石田、今田*、酒井、坂口、田中、松下各委員

欠席者： 越智、栗栖、廣瀬* 各委員

陪席者： 大門、玉田各主査（学生支援グループ）

（* 第1回ワーキング部会の委員として学生会から指名された委員）

審議事項

1) 平成29年 臨床実習Ⅱの計画について

- ・ 松下委員より、平成28年の臨床実習Ⅱの概要について説明があり、これを基に、平成29年の実習をどのように行うか審議を行った。
- ・ 期間については、3月6日～3月31日（4週間）、4月17日～4月28日（2週間）、5月8日～7月28日（12週間）、9月4日～9月29日（4週間）の合計22週間とし、このうち20週間以上選択することを必修とした。
- ・ 実習先選択のルールとしては、以下のように決した。

1) 診療参加型実習（4週間コース）の選択週数について

平成28年は1回を必修としたが、国際認証で診療参加型実習を十分な期間行うことを求められているのに鑑み、平成29年は2回以上選択することを必修とした。

2) 実習先科の選択について

平成28年は特に制限はなかったが、国際認証で「重要な診療科」で学習する時間を定めることを求められているのに鑑み、平成29年は「重要な診療科」での実習を最低1回、その他の診療科での実習を最低3回選択することとした。なお、国際認証基準でいう「重要な診療科」については、今後本学では「基幹的な診療科」の用語をあてることとした。

3) 学内／学外施設の配分について

平成28年は特に制限はなかったが、大学病院は疾病構造に偏りがあり common diseaseを十分に経験するには学外の病院での実習も必要との観点から、期間中に最低1回は学外病院を選択することを必修とした。

- ・ 坂口委員より、例年実習先の振り分け作業が学年代表の仕事となっていて大変な負担になっているとの指摘があり、審議の結果、コンピューター上で自動的に振り分けをするようなソフトを衛生学教室で開発可能かどうか、検討することになった。